

第 7 節 カーボンニュートラル推進課

〔総括概要〕

カーボンニュートラル推進課の主な分掌事務は、カーボンニュートラルの推進を図る業務である。

令和 7 年度は、脱炭素に向けた取組のひとつとして、多様な業種の積極的な参画や連携による「栃木市脱炭素促進プラットフォーム」の運営委員会を開催し、脱炭素に関する意見交換や情報共有、普及啓発活動を通して、市全体の脱炭素に関する機運の醸成に努めた。

各市民団体の会議や研修会に出向き、脱炭素に取り組む必要性についての説明や、各種イベント等で EV 車を活用したデモンストレーションを実施するなど、地球温暖化対策への理解を深める啓発活動を実施した。

再生可能エネルギー普及促進のため、市民に対して太陽光発電をエネルギー源とする定置型蓄電池及び電気自動車充給電システムの設置費の一部補助を行ったほか、太陽光発電を推進するため市有施設の屋根貸出しを継続実施している。

カーボンニュートラル推進係

1 栃木市脱炭素促進プラットフォーム

多様な業種の積極的な参画や連携により脱炭素の取組を促進するため、事業を実施した。

(1) 会員（令和 8 年 3 月 31 日現在）（単位：団体）

市 内	県 内	県 外	計
46	8	3	57

(2) 運営委員会

期 日	会 場	内 容
7 月 4 日（金）	501 会議室 （本庁舎 5 階）	・栃木市脱炭素促進プラットフォーム設置要領の改定について ・総会・講演会の開催について ・プラットフォームの今後の進め方について
9 月 17 日（水）	402 会議室 （本庁舎 4 階）	・総会・講演会・交流会の開催について ・アンケートの結果について ・栃木市再エネ普及促進プロジェクトの解散について
11 月 7 日（金）	正 庁 （本庁舎 3 階）	・エコライフ in とちぎへの出展について ・今後のプロジェクトの検討について ・令和 7 年度総会時のアンケート結果について

2月 9日（月）	正 庁 （本庁舎 3 階）	・ 今後の栃木市脱炭素促進プラットフォームの取り組みについて ・ 「エコライフ in とちぎ」について
----------	------------------	--

(3) 再エネ普及促進プロジェクト

期 日	会 場	内 容
8月 29日（金）	201 会議室 （本庁舎 2 階）	・ 栃木市再エネ普及促進プロジェクトの解散について

(4) 総会・講演会・交流会

期 日	会 場	内 容
10月 2日（木）	正 庁 （本庁舎 3 階）	1 総会 ①活動報告 ②事業案内 2 講演会 「本当に自社のためになる脱炭素の取り組みとは？ 様々な情報がある中で選ぶ力をつけよう」 公益財団法人自然エネルギー財団 シニアマネージャー（気候変動） 博士（環境） 高瀬 香絵 氏 3 交流会 ・ 会員による事業紹介及び交流

(5) エコライフ in とちぎへの出展

期 日	会 場	内 容
2月 7日（土）	とちぎ岩下の 新生姜ホール （栃木文化会館）	事業者との連携による、環境保全への取組や環境に配慮した製品の展示及び紹介（5社出展）

2 地球温暖化に対する理解促進活動

市民、事業者、市それぞれが、環境問題を地球規模で捉え、日常生活や事業活動の影響が地球環境にまで及ぶことを認識してもらうための普及啓発活動を実施した。

実施日	実施団体・イベント	参加人数（人）
7月 3日（木）	市内小学 5 年生へチラシ配布	1,191
7月 19日（土）	“なつこい” Sound Stage TOCHIGI 2025 with とちぎ盆祭り	1,500
10月 2日（木）	栃木市脱炭素促進プラットフォーム講演会	47
12月 6日（土）	アグリフェスタ	260
2月 7日（土）	エコライフ in とちぎ	800

3 市職員の意識向上のための活動

各部署の省エネ、グリーン購入等の意識向上及び課題解決を促進するため、エコオフィスを推進員研修会を開催した。

期 日	会 場	内 容
8月27日（水）	正 庁 （本庁舎 3 階）	・ 講演会 「“じぶんごと”としての脱炭素 ～職員の皆様こそできる+”トクする”カーボンニュートラルへの具体策～」 一般財団法人省エネルギーセンター 省エネ技術本部技術支援センター技術普及部 マネージャー 鈴木 伸隆 氏 ・ 栃木市の現在の状況とカーボンニュートラルに向けた今後の取組について

4 栃木市役所地球温暖化対策実行計画

- ・ 計画期間 令和5(2023)年度～令和9(2027)年度
- ・ 削減実績

削減項目	基準値 (H26)	実績値 (R7)	増減率
温室効果ガス排出量	26,635 t-CO2	20,091t-CO2	▲ 24%
廃棄物処理量	43,342 t	37,505t	▲ 13%

5 栃木市役所グリーン購入調達方針

行政事務事業活動から生じる環境負荷を低減し、持続可能な社会の形成に資することを目的として、市役所内におけるグリーン購入の推進を図った。

- ・ 対 象 範 囲 市のすべての機関。ただし、指定管理者施設については、方針の趣旨を踏まえ、グリーン購入の推進に努めることとする。
- ・ 特定調達品目 閣議決定物品のうち22項目280品、本市独自物品を2項目4品、計24項目284品
- ・ 調達実績(平均) 66.0%

6 出前講座

地球温暖化に関する啓発を行い、気候変動への対策を実践してもらうため、市民に対して出前講座を実施した。

実施日	場 所	講座名	参加人数（人）
6月 5日（木）	赤津小学校	地球を温暖化から守ろう！	39 人
2月17日（火）	サンプラザ栃木	地球沸騰化防止のススメ！	19 人

7 バルクリースによる低炭素設備賃貸借業務

平成30年度に「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金既存建築物等における省CO2

改修支援事業・地方公共団体所有施設の省ＣＯ２改修支援事業（バルクリース）」を活用し、市有施設の設備を省エネ性能の高い高効率機器に一括で改修した。

(1) 対象施設及び改修設備

ア 改修設備 照明 5,107台 空調 27基
イ 改修対象施設 35施設

(2) 契約相手方

三菱ＨＣキャピタル株式会社 執行役 安栄 香純
（東京都港区西新橋1丁目3番1号）

(3) リース期間

平成31年3月1日～令和11年2月28日までの10年間

(4) 契約金額 190,654,560円（税込）

8 住宅用低炭素設備設置費補助事業

地球温暖化防止対策の一環として、定置型蓄電池及び電気自動車充給電システムの設置費に対し一部補助を行った。

(1) 定置型蓄電池

・補 助 額 補助対象費用の10％
・補助限度額 50,000円
・補 助 件 数 119件
・補 助 総 額 5,950,000円

(2) 電気自動車充給電システム

・補 助 額 一律40,000円
・補 助 件 数 1件
・補 助 総 額 40,000円

9 市有施設屋根貸出事業

太陽光発電を促進するため、市有施設の屋根部分を民間事業者の有償で貸出すことで財源確保に努めた。

・施設数 21施設
・使用料 年間2,846,691円